

大泉

スポーツの秋・芸術の秋

副校長 内田 久仁重

九月一日に副校長として着任いたしました、内田久仁重です。お隣の武蔵野市より、このたび縁あって大泉小学校に参りました。大泉小の子供たちの明るい挨拶、はきはきと話す姿に毎日元気をもらっています。副校長として、未熟ではありますが、精一杯努めて参りますので、どうぞよろしくお願いいたします。

さて、去る九月二十三日に実施された運動会には、本当に多くの皆様に参観、応援していただき、ありがとうございました。子供たちにとって大きな励みになったことと思います。

今年、天候が不順で、肌寒い日が続いたと思ったりいきなり暑い日が続くといった中、全校で運動会に向けて取り組んだ三週間でした。当日は、どの学年も練習の成果を存分に発揮することができたのではないのでしょうか。

また、先日お子さんを通してお手元にお届けした「東京都児童・生徒体力・運動能力・生活・運動習慣等調査」の結果ですが、学年別、男女別で多少の違いはありますが、「立ち幅跳び」が全国や東京都に

<発行>
練馬区立大泉小学校

<所在地>
練馬区東大泉 4-25-1

TEL 03-3924-0144
FAX 03-5387-2092



比べ、低い傾向にあるようです。全力でボールを投げたり、腹筋の瞬発力を使って体全体で大きく跳んだりする経験が貧しくなっているのでしょうか。学校では運動会の時期に限らず、年間を通して様々な体の動きを身に付けられるよう、指導しています。しかし、子供たちには、自由に遊んでいる中で様々な動きを知り、自分の体をうまくコントロールする力を身に付けていってほしいものです。

体を動かすには気持ちのよい季節になりました。休み時間に校庭で、放課後に公園で、制限がある中でも友達と思いつり体を動かしてたくさん遊んでほしいと思います。



また、今月末からは、学芸会の練習が本格的に始まります。保護者の皆様には、衣装や小道具などの準備でご協力いただくことも多いかと思いますが、どうぞよろしく願います。子供たちには、自分ではないものになりきり、体全体を使って表現することのすばらしさを知ってもらえるよう、指導して参ります。そして、秋の大きな行事を通し、子供たち一人一人が成長すると共に、学級、学年、学校としてのまとまりがさらに強くなっていくことを願っています。

10月の行事予定

- 1日(日) 都民の日
 - 2日(月) 安全指導・点検
読書旬間始
 - 4日(水) 宿泊学習事前検診(五)
 - 5日(木) 委員会活動
軽井沢宿泊学習始(五)
 - 7日(土) 軽井沢宿泊学習終(五)
 - 9日(月) 体育の日
 - 10日(火) クラブ活動
 - 12日(木) 4時間授業
研究授業(五)
 - 13日(金) 避難訓練
起震車体験(5)
 - 14日(土) 土曜授業日
特別時程4時間授業
- ※当初の予定と変更になっています。
ご注意ください。
- 16日(月) 生活科校外学習(1)
 - 18日(水) 4時間授業
 - 19日(木) 学校公開日①
クラブ活動
 - 20日(金) 学校公開日②
水曜日時間割
5時間授業(1~3)
6時間授業(4~6)
 - 23日(月) 学芸会時間割始
 - 24日(火) 音楽鑑賞教室
 - 25日(水) 学習発表会(ことば)
 - 26日(木) 特別時程4時間授業
就学時健診
 - 31日(火) いじめ調査

《10月の生活目標》 「落ち着いて学校生活を 送りましょう」

台風や秋の長雨、また日中は真夏を思わせるような暑さと目まぐるしい天候が続いた九月でしたが、子供たちは運動会の練習に全力で取り組みました。当日が近づくにつれ、校内も子供たちの活気に満ち溢れ、チャイムと共に足早に次の活動の場へと移動していく様子も多く見られました。その際、廊下から階段へ向かう場所で、子供たち同士ぶつかりそうな場面に遭遇することもありました。幸いにして、大事には至りませんでした。お互いの歩くスピードがもつと速かったら...と考えただけでヒヤッとした思いにもなりました。

限られた時間の中で、やらなくてはならないことがある場合、私達は少しでも速くやり遂げようとします。その気持ちや努力は大切ですが、忙しいときほど、落ち着いて行動する心がけが必要だと思えます。「時間を守る」「廊下は右側通行」「人の話を聞く」等、普段の生活の中で当たり前にやっていること、基本を大切にすることが、結果的に「落ち着いて行動すること」に結び付き、怪我を未然に防ぐことにもつながるのではないのでしょうか。そうした一日一日の積み重ねが安全で充実した学校生活の基盤になっていくと考えています。

来月には学芸会があります。また、各学年の行事や学習も活発に行われる二学期です。慌ただしい日が続くと思われませんが、引き続き子供たちが落ち着いて学校生活を送ることができるよう声かけや促しをしていきます。(大澤 明子)

四年生の様子

四年生が始まりあつという間に半年が経ちました。四月当初は体も小さく可愛らしい印象でしたが、半年でぐんと大きくなり、たくましくなりました。体だけでなく、友達と関わり合う中で、心も少しずつ成長している様子が日々見受けられます。

総合的な学習の時間では、地域の加藤さんに協力していただき、練馬大根の種まきをしました。初めて大根の種を見たときには、こんなに小さな種から大きな大根ができることに興味津々で観察をしていました。大根は十二月頃に収穫し、学校でたくあん漬けにします。

社会科では、水道局の方々に来ていただき、「水道キャラバン」を行いました。浄水場の様子を教えていただいたり、汚れた水を薬品や濾過器できれいにする実験を行ったりしながら、水についての学習を深めることができました。今後のゴミの学習でも清掃局の方々をお呼びしてお話を聞く予定です。

先日行われた運動会の「ダイナミックエイサー」では、一つ一つに本気で取り組むこと、周りとのつながりを意識することをめあてに練習に取り組んできました。太鼓の音を揃えることや腰を落として大きく踊ることに苦戦しながらも、休み時間などに友達同士で声を掛け合いながら練習している姿が見られました。

二学期にはまだまだ行事も多くあります。どの行事においても、友達とのつながりを大切にしながら、前向きに取り組んでほしいと思います。

(勝又 眞優)

五年生の様子

五年生になり、新しいものとの出会いに期待と戸惑いと緊張が混ざり合いますがスタートした四月。家庭科や外国語活動の教科の学習、委員会活動、移動教室。半年間で様々な経験をしてきました。

六月の武石移動教室では、見学先の方から、前向きに活動する姿やあいさつを褒めていただきました。ベルデ武石では、前日までの自分たちの生活を振り返り、日が進むにつれて友達と声を掛け合いながら、生活を作っていました。

夏季水泳指導に毎日プールに通った子供たちもいます。「正しいクロールで二十五メートルを泳ぎ切りたい。」「平泳ぎの足と手がばらばらだから直したい。」「と、めあてをもつて取り組んでいました。他にも、水泳や課外活動に来た時に、水やりや雑草抜き、観察のために友達と田んぼに足を運んだ子供たちもいます。思いや意欲をもち、目標をみつめて取り組む子供たちの成長には、こちらが驚かされました。

先日の運動会での、大泉ソーランの腰を低くする「構え」の姿勢。日に日にたくまくなる姿に、子供たちの熱心さを感じました。高学年の活動の一つ、学校行事を支える係活動も新たに経験しました。一人ひとつ役割をもち、時間をかけて練習を重ねたり、人知れずこつこつと準備を進めたりし、全校の運動会のために活躍しました。

このあとも、ロング集会、学芸会と続きます。忙しさもありますが、その分やり甲斐のある時期でもあります。子供たちの成長につながる活動になるよう、身の引き締まる思いでいます。

(比護 明日香)

いずみ学級から

今年度は練馬区の特別支援教室事業の移行期間にあたり、従来の通級指導に加え巡回指導が始まりました。いずみ学級担任も週に一日他校の特別支援教室での指導を行っています。

通級指導や特別支援教室での指導を利用する子供たちは、友達との関係がとりにくかったり、自分の気持ちをうまく表現できなかったりするなど、集団生活の中で何らかの困り感を抱えている子供たちです。

毎週の指導は、その子の課題に沿って教師と一対一で行う個別学習と、数人の子供達との関係を生かして行う小集団学習を組み合わせで行います。指導の出発点は「あなたは何に困っているの?」「あなたはどのようにしたいの?」と子供に問いかけることです。

いずみ学級では、集中心力や社会性の向上を目指す活動、体づくりの運動や見る力を高める練習など様々な指導の手立てを用意していますが、その子の課題に寄り添い一緒に手立てを考えていくという立場に立たなければ、どんな指導も効果は上がりません。

通常学級の学習は一斉指導が中心になります。しかし、その中でも一人一人の実態を把握し、その子にあった対応を考えることで、実りある学校教育が作られてきたのだと思います。そう考えると、いずみ学級で行っている特別支援教育とは、決して「特別」な事ではないのではないのでしょうか。

私たち情緒学級担任は、どの子も、朗らかに過ごせるように保護者の方々と在籍学級担任とつながりながら、その子にあった支援の仕方を探っていきたいと思います。(大木 篤)

給食室から

過ごしやすいい季節になりましたが、気温の変化が激しく体調を崩しやすい時期でもあります。規則正しい生活とバランスのとれた食事、適度な運動を心がけて過ごしましょう。

たくさんのお作物が収穫の時期を迎え、実りの秋が訪れました。給食にも旬の食材がたくさん登場します。大泉小学校の給食は、和食を積極的に取り入れ、「学校給食摂取基準」食品構成を踏まえて、児童の発達に必要な栄養が確保されるように全体のバランスを考えて献立を作成しています。

素材の味を生かし美味しく食べられるように作り方を工夫し、安心・安全で愛情のこもった給食を提供できるよう給食室一同頑張っています。給食室一同

心のふれ合い相談室から

二学期が始まって一ヶ月。身体の疲れも、心の疲れもたまっています。相談室で「コリ」をほぐしませんか。

「クラスのお友達とうまくいっていないようだ。」

「親の話聞かなくなってきた。」

そんなときは、ストレスをため込まず相談室に遊びに来てください。一緒にお話をしましょう。

- ・相談日 火曜日と木曜日
- ・時間 十時から十六時
- ・場所 二階和室

※休み時間は児童が来ます。
※予約することもできます。

(佐藤 ちはる)